

はじめに

はじましての方もそうでない方もこんにちは！
今回は、Term4を振り返ります。週末を利用して、シドニーへ旅行へ行きました。旅の感想についても触れています。日本は、秋に向かっている頃かと思いますが、こちらは夏に近づいています。

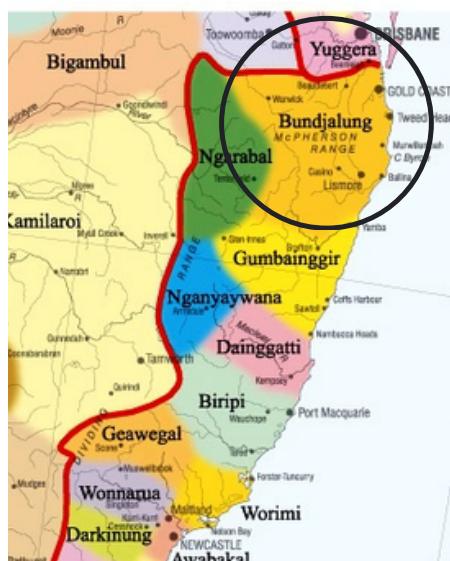


Marketing Research

2年時春のインターンシップを通じて、マーケティングに興味を持ったため、履修を決めました。履修してから知ったのですが、この講義は、応用編であり、基礎のない私は苦労しました。講義自体は、人数が少なく、質問しやすい雰囲気であったため、助かりました。ケーススタディとなる一つの例をもとに、講義で習った内容を実践していく課題でした。一つ一つの成績の配点は低いですが、毎週課題を提出する必要があったため、計画的に課題を進めることの重要さについても改めて感じました。

Health and Indigenous people

先住民学というより健康が主で、看護師や生活相談員になりたい学生の必修科目でした。オーストラリアは健康大国として知られていますが、先住民とそうでない人の間には大きな健康格差があることを学びました。先住民の方がメンタルヘルスや肥満といった課題を抱えている傾向にあります。理由の一つとして、資金面でアクセスが難しいことが挙げられていました。オーストラリアで留学生活を送っていても、この講義をとらなければ知り得ない学びでした。どうして健康格差があるのか、留学中に学びを深めたいです。



Aboriginal and Torres Strait Islandersのお話

オーストラリアは、6つの州で構成されています。私が留学生活を送っているのは、クイーンズランド州にあるゴールドコーストという場所です。それぞれの土地には、古くからの先住民の名称があります。クイーンズランド州は、Murri。ゴールドコーストは、Bundjalungです。

健康格差の原因として歴史を遡ると、ヨーロッパによる植民地支配が挙げられます。オーストラリアの土地をTerra nullius(誰のものでもない土地)とし、先住民が元々暮らしていた土地の植民地化が進められました。先住民は、自己紹介をする時、必ず名前と出身地を話します。それは、彼らと土地とのつながりが深いことの証だ、とBandjurang出身の教授が言っていました。植民地下では、同化政策が行われ、政策の一つとして、多くの子どもが親から切り離されました。植民地支配が終わった後も、Intergenerational trauma(世代間トラウマ)として恐怖が受け継がれ、彼らのメンタルや身体に影響を及ぼしてきました。

事実、先住民と先住民でないオーストラリア人の健康寿命には、大きな差があります。2020年の調査では、男性は8.8年、女性は8.1年、先住民の方が短いです。健康寿命だけではなく、先住民はアルコールやドラッグの乱用など健康に関する問題を多く抱えている傾向にあります。

Health and Indigenous peopleの講義を通して、得た知識を簡単にまとめてみました。健康的な留学生活を送っていること・普段、先住民との関わりがないことから、生活していてこれらの健康格差を体感したことはなかったです。もしかしたら、理解にずれが生じているかもしれません。少しの期間ではあるものの、Bundjalungという土地で留学生活を送っています。先住民に関する博物館や施設へ訪れ、土地と人の理解を深めていきたいです。

スケジュール

火曜日	12:00-13:00	オンライン
金曜日	16:00-17:50	対面
2週目	ケーススタディ	(成績の20%)
3週目	ケーススタディ	(成績の20%)
5週目	アンケート作成	(成績の30%)
6週目	クイズ	(成績の30%)
月曜日	12:00-13:00	オンライン
木曜日	14:00-16:50	対面
3週目	レスポンス	(成績の45%)
6週目	エッセイ	(成績の55%)

私が出会ったステキな言葉：Dadirri
アボリジニの言葉で「心のうちで深く耳を傾けること」を意味します。

2泊3日のSydney旅行

一人旅でシドニーへ来ました。今回の旅のメインは、シドニーマラソンです。無事、4.2kmのミニマラソンを完走しました。普段は走れない、ハーバーブリッジの車道を走りました。別日には、ハーバーブリッジへ登りました。天気にも恵まれ、ステキな景色を見られました！

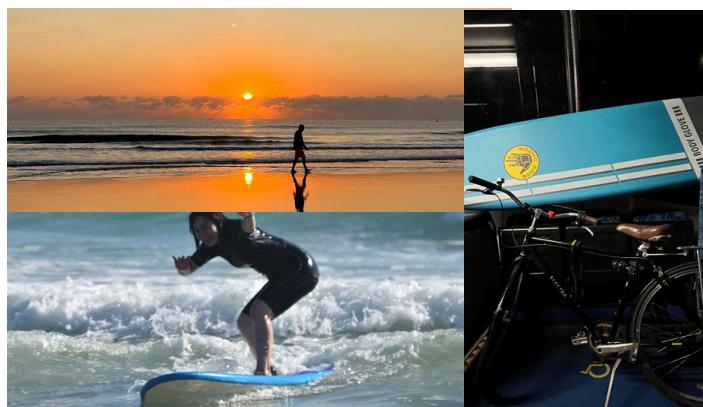
今回の旅は、いろいろな出会いがあり、刺激的でした。一人であるからこそ、自分ができること・楽しいことを見つける良い旅となりました。



嬉しい出会い

シドニーハーリングホリデイに来ている文芸大の先輩にお会いしました！国際交流センターで留学相談員をされている先輩の紹介で知りました。シドニーで初対面でしたが、話が盛り上がり、とてもステキな時間を過ごせました。知り合いがないと思っていた土地に知り合いがいることは、不思議と力になります。また会える日が楽しみです：）

治安がよろしくないことで知られているキングスクロスのホステルへ滞在しました。無知は怖いことです。ホステル予約後、友達から治安が悪い街であることを教わりました。一度おじさんの叫び声で起きる日がありました。同じ部屋になった人とはマラソン会場へ一緒に行ったり、ランチを共にしたり、一期一会の出会いがありました。



新しい仲間

GoldCoastでの生活

帰国する友人からサーフボードと自転車を買い取りました。自転車でサーフボードを運ぶためのラックは、FacebookのMarketplaceで購入しました。自分が帰国する際も、買った値段で誰かに売れば、無料です。これから行動範囲が広がっていくのが楽しみです：）

ランニング

オーストラリア留学の悩みの一つとして、「オージーの友だちができない」というのは聞いたことがある人がいるかもしれません。お勧めしたいのが、ソーシャルランクラブに参加することです。ランニングという共通の趣味をもった人たちが朝5時に集まり、喋りながら一緒に走ります。海岸沿いを走るため、もちろん無料です。初対面の人と会話するため、コミュニケーション能力も徐々に上がっているように感じます。私は、11月に50kmマラソンを控えているため、とてもいい練習になっています。何より、日の出が美しいです。

SWELL のボランティア

Currumbin beachに芸術作品が飾られるお祭りのボランティアをしました。ゲストと交流する時間はもちろん、ゲストが来ない時間はボランティア仲間と話で盛り上がり、楽しかったです。



友だちのFarewell Party

留学へ来てはじめて仲良くなった日本人の友人のお別れパーティがありました。たくさんの友だちが彼女へさよならを伝えに来ました。私が留学に来てから、たくさんの友人ができ、楽しい生活を送っているのは、彼女のおかげでもあります。

私が帰国する側になるのも、すぐです。「遊ぶ」となったら、みんなそれぞれに友人を招待し、友だちが友だちになっていくオーストラリア。みんなで食べ物を持ち寄り、サンセットを見るまでがお決まりです。残りの留学生活も、人とのつながりを大切にし、日々の暮らしを楽しみたいです。